

砂防工事専用軌道の複数箇所では被害を確認 (点検完了)



立山砂防事務所では、雪融けが進んだ3月下旬より、砂防工事専用軌道(以下、「軌道」という。)の運行に備えて軌道の異常箇所有無を確認するための点検を行っています。中間報告(Vol.2)では、軌道総延長約18kmのうち約9km地点までの点検結果を報告しました。今回は、残りの約9km地点から終点の水谷連絡所(約18km地点)までの点検結果を報告します。その結果、多くの箇所では落石や土砂の流出が確認され、電源ボックスやポイントの自動切換器などの損傷も見受けられました。今後は、速やかに被害箇所周辺の斜面の詳細調査と復旧工事を進める予定ですが、軌道の全線運行までには相当の時間を要する状況です。

七郎トンネル上流付近



七郎スイッチバック下流付近



グス谷橋上流付近



落石による軌道施設の損傷

電源ボックスの損傷(潰れ)

多数の巨礫による軌道施設の損傷

ポイントの自動切換器の損傷



七郎スイッチバック付近